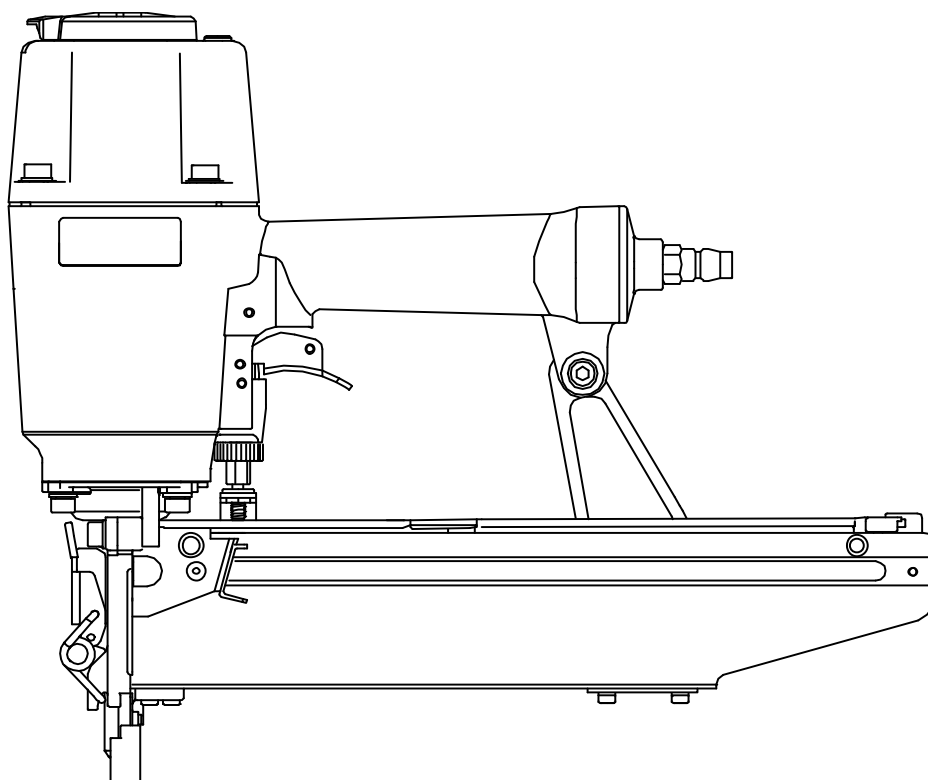


ステーブルタッカー Q-64 取扱説明書

本機のご使用前に、取扱説明書を最後まで良く読み、正しく安全にお使いいただきますようお願い致します。

（本機の仕様は機能向上などの為、予告なしに変更する場合があります。）



【危険】

本機は射出口に安全装置が付属していますが、安全装置がなにかに触れて押し上げられた場合、トリガを引くとステーブルが発射します。ステーブルを打つとき以外は、トリガに触れないでください。誤ってステーブルが発射すると重大な事故につながる危険があります。

【警告】

本機は木材へのステーブル打ち作業を目的とした工具です。
他用途に使用しないでください。
コンクリート、鉄鋼などへステーブルを打ち込まないでください。
射出口が詰まった状態でステーブルを射出すると本機の損傷を招きます。
正常に作動しなくなった場合は自分で修理せず販売店に修理を依頼ください。
絶対に分解また改造をしないでください。

- この取扱説明書での△表示の意味は下記の通りです。

△【危険】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容の注意。
△【警告】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。
△【注意】	操作に関する重要な注意。状況によっては重大事故に至る可能性がある内容の注意。

- 安全作業のための注意 △【危険】

1) 保護具

作業時も周囲の人も必ず保護メガネを着用してください。打損じのステープルが跳ねて眼に入る危険があります。排気音や排気から耳を保護するため、耳栓などの防音保護具を着用してください。作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。

2) エアコンプレッサ

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使うと異常燃焼をおこし爆発事故の恐れがありますのでエアコンプレッサ以外は使用しないでください。本機の使用前後にはエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩めて、内部に溜まった水や油を除去してください。本機の内部に水や油が溜まると錆発生などで故障原因となります。

3) エアホース接続前に

ステープルが装填されていない事を確認してください。ねじ類の緩みがない事、損傷／脱落／異常動作の部品がない事を確認してください。射出口が人や物に当たっていない事、人に向いていない事を確認してください。

4) エアホース接続後に

空気漏れ・異常音・作動音などが無い事を確認してください。エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がある場合、そのまま使用すると事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

5) 作業前に

周囲に作業員以外（特に子供など）がいない事を確認してください。作業場所が、明るく、作業に応じて整理されている事を確認してください。無理な姿勢また後退しながらの作業は大変危険です。高所作業の場合、足場の安全が確保されている事を確認してください。本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）のそばで使用するとステープル打込時の火花による引火や、空気と一緒に吸入圧縮され爆発の危険があります。揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。

6) 作業中に

トリガに指をかけたまま本機を持ち運びまた手渡しなどをしないでください。誤ってステープルが射出されると危険です。本機を移動させる時は必ずトリガから指を離し、場合によりエアホースも外してください。エアホースを掴んで本機を移動しないでください。

7) ステープルを打つときは

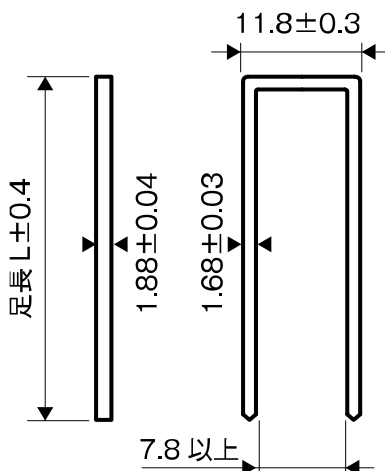
向い合わせでの作業は、打ち損じたステープルが向いの作業員に当り思わぬ事故を招きます。向い合わせでの作業は絶対にしないでください。対象物に配線やガス管など埋設物が無い事を確認してください。射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。落としたりして連結が切れたステープルを使用すると、ステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生する可能性がありますので使用しないでください。

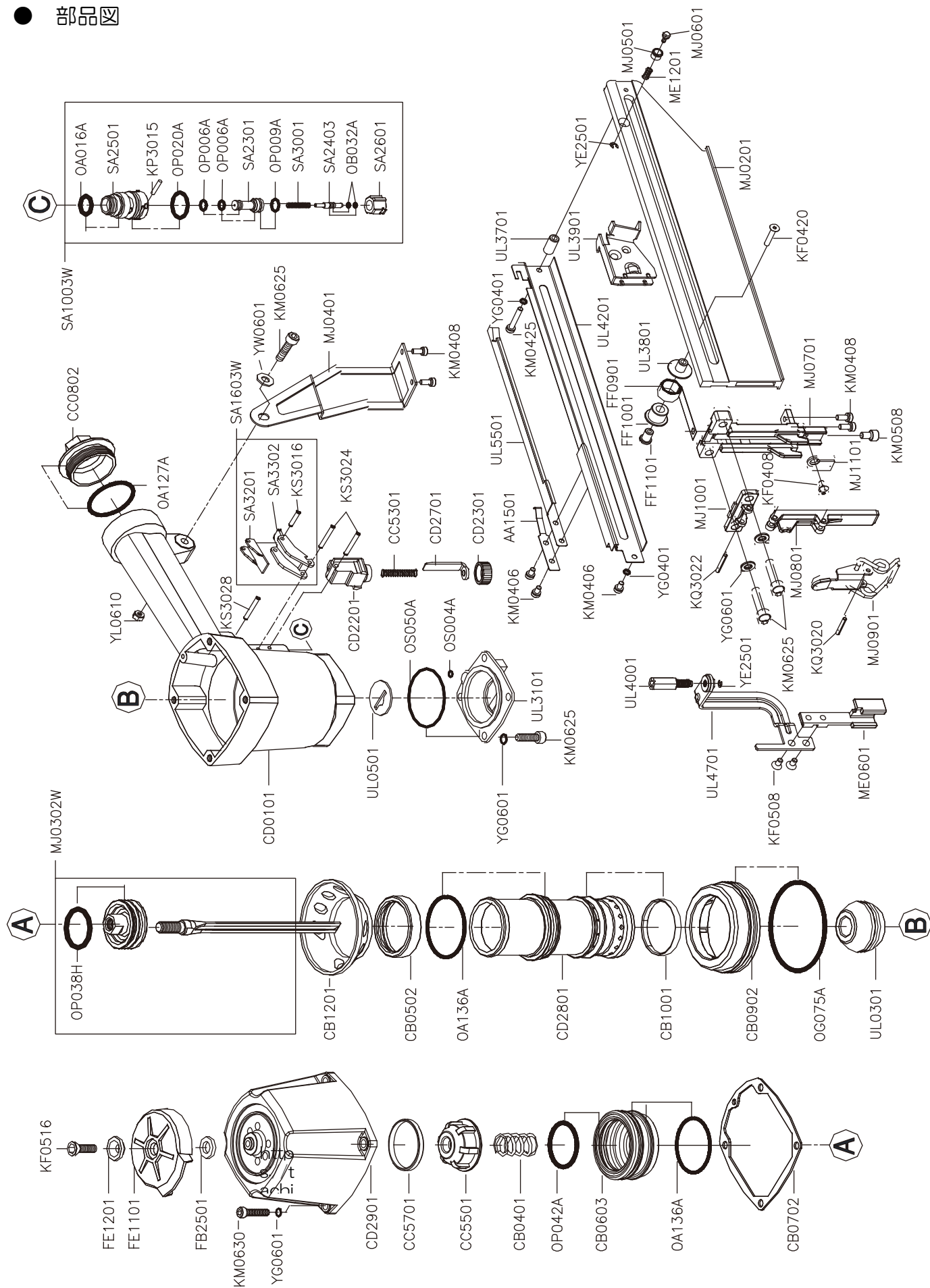
8) ステープル詰まりを直すときは、エアホースを外し、ステープルを全部抜き取ってから作業してください。

9) 作業終了時には、エアホースを外し、マガジン内のステープルを全て抜き取ってください。

<https://tachikawa-net.jp>

● 仕様

型式	Q-64								
外径寸法・重量	380x320(H)x92mm 2.4Kg								
ステーブル装填	140本								
エアー継手	1/4" NPT								
使用エアホース	エアホースの内径はΦ6mm以上です。エアホース長さは30m以内のものを使用してください。エアホースが長いと圧力低下により打込み不十分となります。								
使用空気圧	最大許容圧力	0.8MPa (8.16Kgf/cm ²)							
	推奨使用圧力	0.45MPa ~ 0.75MPa (4.59~7.65Kgf/cm ²)							
	⚠【警告】 空気圧は対象物により、上記範囲内で調節し使用してください。範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を縮めたり、損傷によって事故を招く恐れがあります。								
使用オイル (タービン油)	⚠【注意】 給油の前にエアホースを外してください。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2~3滴給油してください。作業前の油は潤滑油となり、作業後の油はさび止めとなります。給油直後にエアを通すと、しばらくの間、油が排気口より噴霧状に飛び散るので油が飛んでも支障のない所で2~3本ステーブルを打ってから作業してください。作業後に給油した場合、ステーブルを1本打つと油が内部に行き渡ります。排気口から出た油は拭き取ってください。過剰の給油は本機に悪影響を及ぼす場合があります。指定外のオイルを使用すると、能力低下や故障の原因となります。界面活性剤などの添加物を入れないでください。								
騒音レベル	特性音圧レベル LpA	86.27dB(A)							
	音響パワーレベル LwA	99.27dB(A)							
	計測の不確実性	3dB							
⚠【注意】 法令や自治体条例の騒音規制値を超えないよう、遮音壁を設けるなど状況に応じた使用をお願いします。									
振動	手腕振動値	3.71m/s ²							
	計測の不確実性	1.5m/s ²							
⚠【注意】 使用状況により上記と異なる場合があります。実使用での測定に従い安全確保の上、使用してください。									
指定ステーブル	<table><tr><td>使用ステーブル</td><td>足長L(mm)</td></tr><tr><td>857Q</td><td>57</td></tr><tr><td>864Q</td><td>64</td></tr></table> ps://tachikawa-ne 			使用ステーブル	足長L(mm)	857Q	57	864Q	64
使用ステーブル	足長L(mm)								
857Q	57								
864Q	64								
⚠【警告】 指定ステーブル以外を使用すると故障や事故の原因となります。必ず指定ステーブルを使用して下さい。									



● 部品表

部品番号	部品名称	数
AA1501	スプリング	1
CB0401	コンプレッションスプリング	1
CB0502	シリンダーリング	1
CB0603	ヘッドバルブピストン	1
CB0702	キャップシール	1
CB0902	シリンダーリング	1
CB1001	チェックシール	1
CB1201	カラー	1
CC0802	エンドキャップ	1
CC5301	コンプレッションスプリング	1
CC5501	ピストンストップ	1
CC5701	スペーサー	1
CD0101	ボディ	1
CD2201	セーフティセット	1
CD2301	アジャスティングホイール	1
CD2701	セーフティ	1
CD2801	シリンダー	1
CD2901	シリンダーキャップ	1
FB2501	ピストンストップ	1
FE1101	イグゾーストキャップ	1
FE1201	イグゾーストキャップ https://tachikawa	1
FF0901	プッシャースプリング	1
FF1001	ローラー	1
FF1101	ローラーアンカー	1
KF0408	平頭ボルト M4×0.7-8L	1
KF0420	平頭ボルト M4×0.7-20L	1
KF0508	平頭ボルト M5×0.8-8L	2
KF0516	平頭ボルト M5×0.8-16L	1
KM0406	六角穴付ボルト M4×0.7-6L	3
KM0408	六角穴付ボルト M4×0.7-8L	4
KM0425	六角穴付ボルト M4×0.7-25L	1
KM0508	六角穴付ボルト M5×0.8-8L	1
KM0625	六角穴付ボルト M6×1.0-25L	7
KM0630	六角穴付ボルト M6×1.0-30L	4
KP3015	パラレルピン φ3×15L	2
KQ3020	スプリングピン φ3×20L	1
KQ3022	スプリングピン φ3×22L	1
KS3016	スプリングピン φ3×16L	1
KS3024	スプリングピン φ3×24L	2
KS3028	スプリングピン φ3×28L	1
ME0601	ワークコンタクティングエレメント	1
ME1201	コンプレッションスプリング	1
MJ0201	マガジンシート	1
MJ0302W	ピストンドライバーOリングセット	1

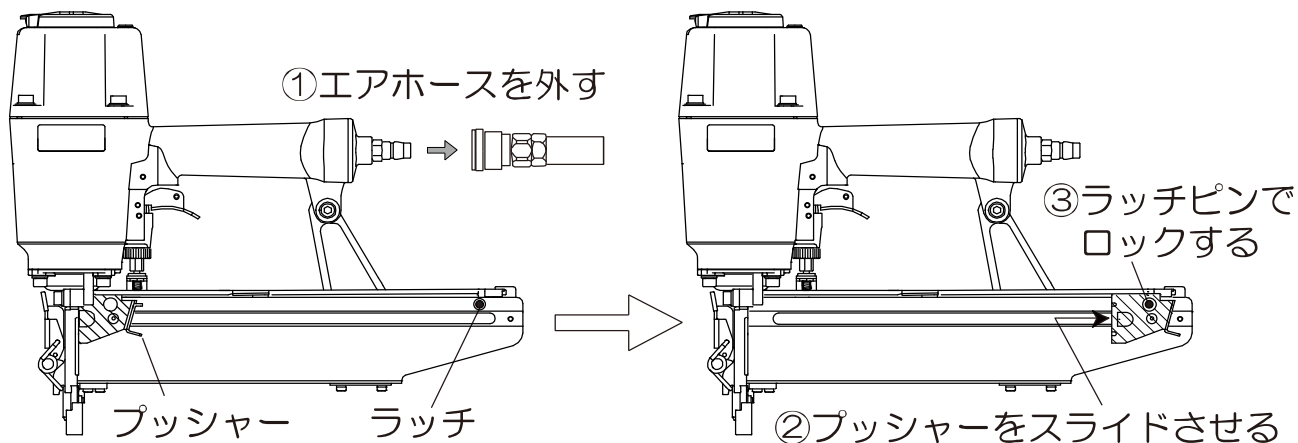
部品番号	部品名称	数
MJ0401	サポート	1
MJ0501	ラッチスタッドブッシング	1
MJ0601	ストップピン	1
MJ0701	ガイドプレート	1
MJ0801	アジャスタブルプレート(B)	1
MJ0901	フィックスドピンアッセンブリ	1
MJ1001	アジャスタブルプレート(A)	1
MJ1101	ラバープレート	1
OA016A	Oリング ARP568-016	1
OA127A	Oリング ARP568-127	1
OA136A	Oリング ARP568-136	3
OB032A	Oリング 2.5×1.4	2
OG075A	Oリング G75	1
OP006A	Oリング P6	2
OP009A	Oリング P9	1
OP020A	Oリング P20	1
OP038H	Oリング 37.7×3.5	1
OP042A	Oリング P42	1
OS004A	Oリング S-4	1
OS050A	Oリング S-50	1
SA1003W	レストリクティブトリガーアッセンブリ	1
SA1603W	トリガーアッセンブリ	1
SA2301	パイロットバルブ	1
SA2403	トリガーバルブシステム	1
SA2501	トリガーバルブシート	1
SA2601	トリガーバルブシート	1
SA3001	コンプレッションスプリング	1
SA3201	コンタクトレバー	1
SA3302	トリガー	1
UL0301	バンパー	1
UL0501	ノズル	1
UL3101	サイドプレート(L,H)	1
UL3701	ディスタンスシャフト	1
UL3801	プッシャーピン	1
UL3901	プッシャー	1
UL4001	アジャスティングピン	1
UL4201	カバーマガジン(A)	1
UL4701	ワークコンタクティングエレメント(B)	1
UL5501	カバーマガジン(B)	1
YE2501	Eリング φ2.5	2
YG0401	スプリングワッシャーφ4	2
YG0601	スプリングワッシャーφ6	10
YL0610	ロックナットM6×1.0	1
YW0601	平ワッシャーφ6	1

1) ステープルを装填する

①ステープルを装填する前に、必ずエアホースを外してください。

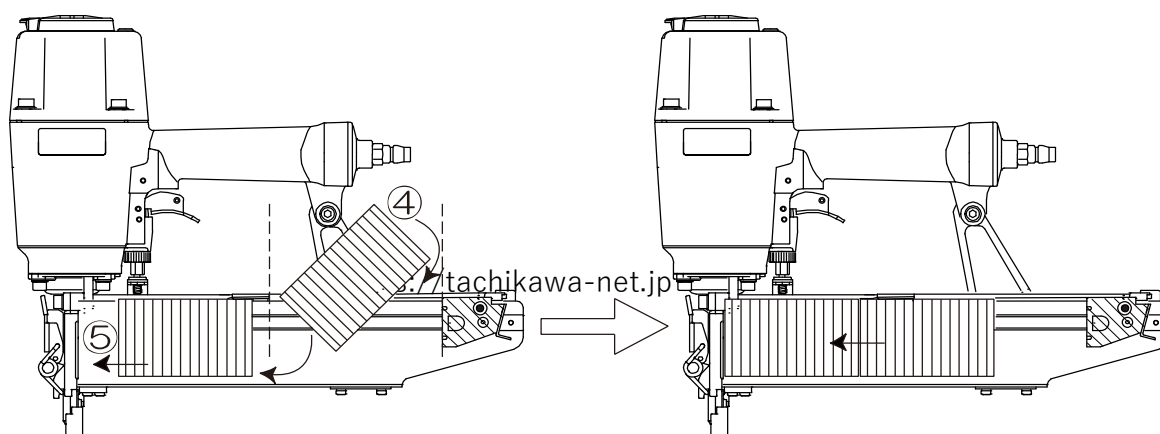
エアホースを接続したままステープル装填作業を行うと思わぬ事故につながる危険があります。

②プッシャーを、③ラッチピンにロックされるまでスライドさせる。



④マガジンシートへ、ステープルを針先側から乗せる。（下図、点線の範囲に斜めに挿入）

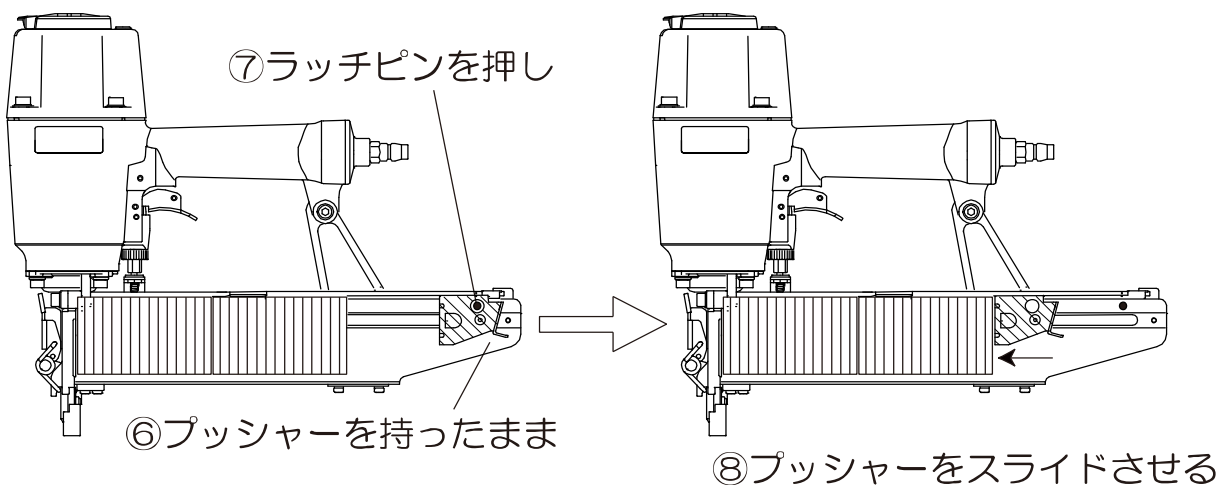
⑤挿入したステープルをスライドさせた後、次のステープルを挿入する。



ラッチピンを押し込むとロックが解除されプッシャーがバネによりスライドします。

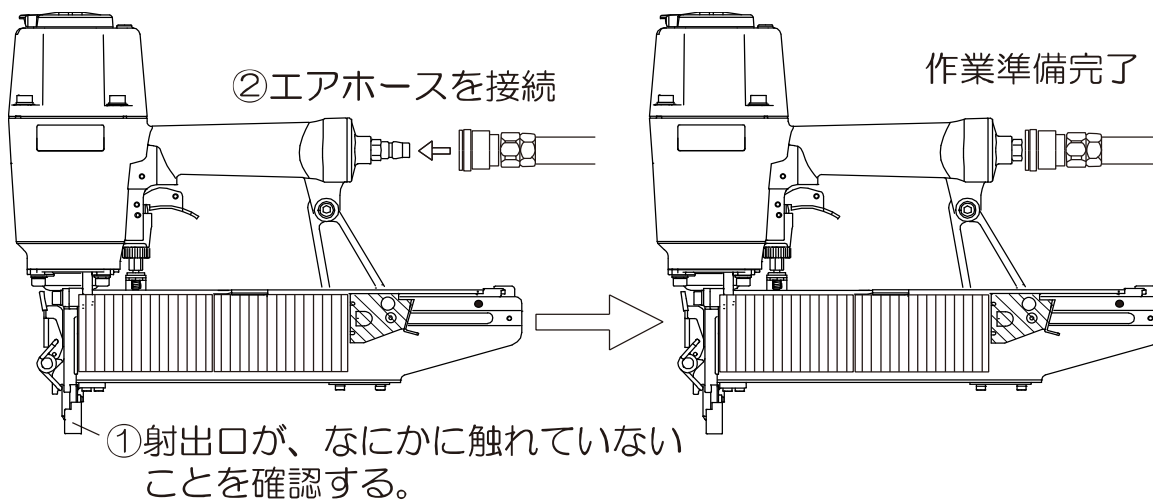
プッシャーとステープルの間に指を挟んだりしないよう、

⑥プッシャーをしっかりとったまま、⑦ラッチピンを押し込んでください。⑧ステープル端面までプッシャーをスライドさせます。プッシャーがステープルを押し込んでいる事、プッシャーとステープルの間に隙間が無い事を確認してください。



2) エアホースを接続する。

- ①タッカーが不安定な状態に無い事、周囲が整理されていること、射出口（安全装置）がなにかに触れていない事を確認する。
- ②タッカーとエアホースをしっかりと保持しながら接続する。

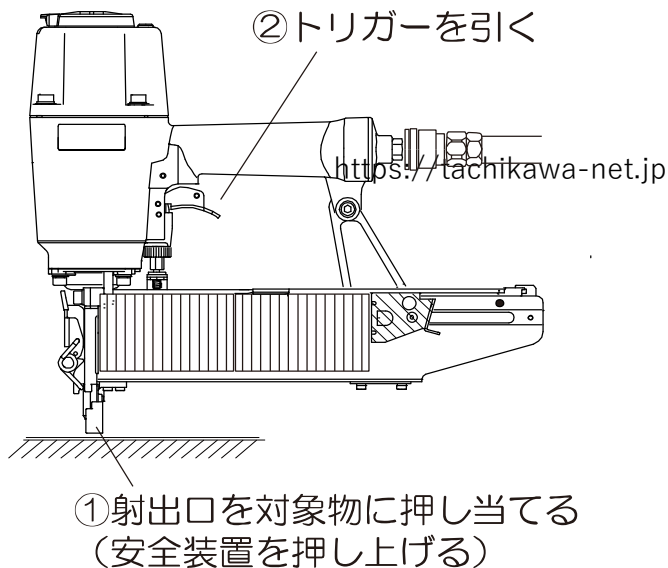


3) ステープルを打つ。

このタッカーは、射出口に安全装置がついています。

安全装置を打ち込み対象物に当て、押し上げると、トリガーを引くことができます。

トリガーを引くとステープルが発射します。タッカーをしっかりと保持し、発射の反発で怪我などされないよう安全な作業をお願いします。



安全作業の為に

- 作業場所の整理整頓
- 作業前の工具の点検
- 保護具の装着
- 近くの作業者に注意
- タッカーをしっかりと保持をお願いします。

株式会社立川ピン製作所 拠点

本社 三重工場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜3279-1 TEL 0595-20-1124（代） FAX 0595-20-1752
大阪営業所	〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋8-16 TEL 06-6942-1241（代） FAX 06-6947-1737
東京営業所	〒130-0012 東京都墨田区太平4-6-17 TEL 03-5608-2100（代） FAX 03-5608-2101
名古屋営業所	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山3丁目11番16号 松本ビル1階 TEL 052-684-4175 FAX 052-684-4176
福岡営業所	〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町10-15-101 TEL 092-433-2101（代） FAX 092-433-2102
ホームページ	https://tachikawa-net.jp